

●目的

南海トラフ地震等の大規模災害が発生した際、より負傷者に近い場所(前方)で迅速に医療救護活動を行えるよう、県内の医療従事者で編成する医療支援チームの活動内容や派遣対象者、人材育成の方法などについて関係団体で協議し、医療支援チームの派遣の仕組みの具体化を図る。

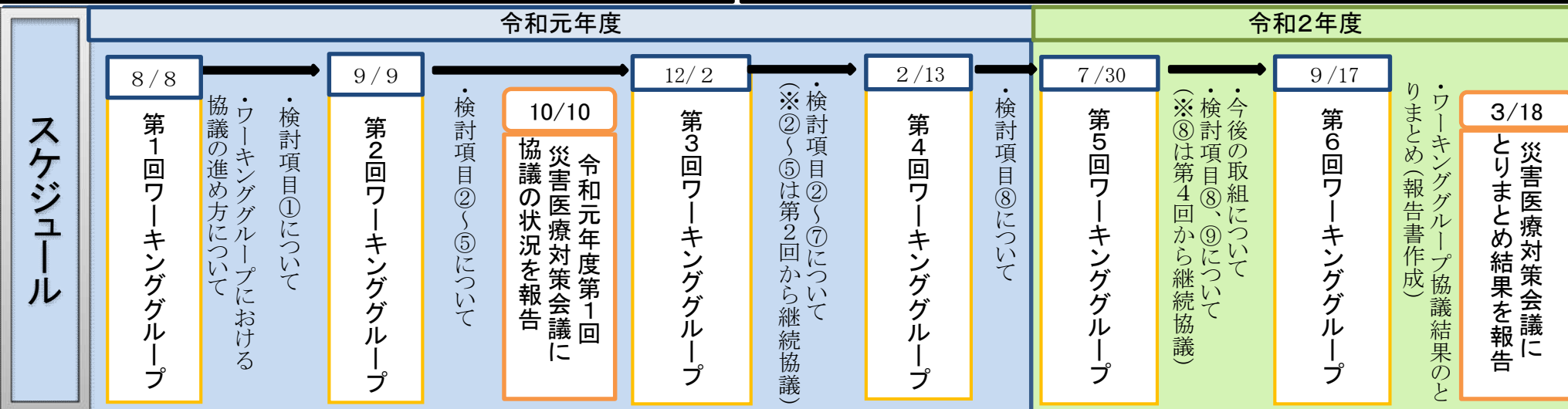
【委員】

- ・ 武田 丘 氏(高知県医師会 副会長)
- ◎北村 龍彦 氏(高知県医師会 常任理事、災害対策委員長)
- ・ 濱田 敏裕 氏(高知県歯科医師会 常務理事)
- ・ 長崎 大武 氏(高知県薬剤師会 常務理事)
- ・ 西川 公恵 氏(高知県看護協会 常任理事)
- ・ 吉岡 邦展 氏(日本赤十字社高知県支部 事業推進課長)
- 西山 謹吾 氏(高知県災害医療コーディネーター)
- ・ 井原 則之 氏(高知DMAT協議会 副会長)
- ・ 齋坂 雄一 氏(高知医療センター 救命救急科長)
- ・ 豊田 誠 氏(高知市保健所長)
- ・ 宗石 こずゑ氏(香美市健康介護支援課長)

◎は会長、○は副会長

【主な協議項目】

- ①想定される活動内容(活動場所、内容、期間)
- ②対象者
- ③人材育成に係る研修等
- ④派遣形態
- ⑤装備品や資機材の整備(服装、通信機器、医療資機材等)
- ⑥活動に係る費用弁償
- ⑦補償(事故等により派遣者が死傷した際の損害補償、医療行為により患者を死亡させた場合等の賠償責任に対する補償)
- ⑧派遣調整の方法(発災時の情報伝達の流れ、連絡方法等)
- ⑨交代要員の確保(追加派遣チームの編成等)



スケジュール

ワーキンググループ協議結果のとりまとめ(報告書作成)